

校長が考える学校経営の「一步先へ！」を実現する

～「学校経営 A P を有効性のある計画書に！」～

AP提出ありがとうございました

子どもたちの
笑顔・元気のために…

104校全ての小中学校の A P がそろいました。それぞれに、校長先生方の思いが詰まっており、学校の進む方向が明確になってきているのを感じます。この取組も3年目を迎え、本年度はさらに実効性を高めていき、児童・生徒の「学力」の向上をはじめとして、「心」の成長、「体」の成長を実感できる年度にしていきたいと思えます。

補強 実効性を高めるために！ **修正**

A P に順次、目を通させていただいています。「ねらい」や「ビジョン」は素晴らしいのですが、「もう少しここがはっきりすれば」「これを付け加えれば」など「**取組のイメージがしづらい**」箇所が見受けられるものもあります。もう一度 A P を補強・修正することも必要に応じてお願いします。

- ① 「重点取組」、「取組指標」を職員・児童生徒が共有できるように『**明確**』にしましょう。
- ② 「取組指標」は「重点取組」の『**成果や進捗状況が確認できる評価指標**』を設定しましょう。（達成目標と同じ指標にしない）
- ③ 「知」の項目には、必ず『**授業改善に関する取組**』を位置付けましょう。

提出した A P を固定的に考えずに、職員間での共有の段階や児童・生徒の実態の変化により補強・修正は大切です。A P を有効性のある計画書とすることが肝要です。補強・修正段階でご相談事がありましたら、ご遠慮なく **AD河野** までご連絡ください。